



学校だより 3月号

市田っ子

令和7年2月25日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田小HP→



根っこだけ、は育たない

校長 森 洋子

朝のあいさつ、縦割り遊びや委員会活動の様子を見ると、高学年が実に頼もしく見え、誇らしく感じています。中・低学年もいきいきと生活し、できる事を1つずつ増やしている毎日です。本当の意味で、児童同士が支え合う姿が市田小学校にはあります。

のびのびと育っている姿を見ていると、大人になっても生き生きと、喜びを感じながら生活してほしいと、心から思います。そのために市田小学校で過ごす6年間で、これから必要となる「自分の力で、周りとは協調して生きていく力」よく聞く「生きる力」を育てることを意識したいと考えています。

小学校での生活は、楽しいことがたくさんあります。でも、困難なこと、悔しい経験もしていきます。そんな毎日をいきいきと過ごしていくためには、学校で感じる楽しいことを心から楽しいと感じ、悔しさや困難な経験も、気持ちを切り替え、乗り越えられた自分を「すごいぞ。」と思えるようなポジティブなものの考え方ができるような雰囲気づくりが大事だと考えています。そのために、子供たちの気持ちをまわりの大人たちがちゃんと受け止め、認める。このことで子どもは、「自分はありのままでもいいんだ」「誰かと比べず、持っている力一杯でやってみよう」と思える素直な気持ちが芽生えていく。そして、**必ず支えてくれる「誰か」がいることが、人を信じる力を養う。**信頼できる人がそばにいることは大きな安心感へとつながり、**同じ出来事を一緒に喜んでくれる大人がいること**で、子どもは安心して生活することができるようになる。こうした大人の一人に、と考えて市田小教職員は子供たちと向き合ってきました。

気持ちには数えきれないほどの種類があります。嬉しい、楽しい、わくわく、悲しい、寂しい、苦しい、恥ずかしい、悔しい、もどかしい、うらやましい…

全部感じ、表現していいはずの気持ちですが、**苦しい、恥ずかしい、悔しい、といった気持ちは、自分の中に押し込めがち**です。でも全部、自分の大切な気持ち。「こんな風に思う自分はダメなんだ」と思い、自分の中に閉じ込める子供がいるな、と感じることもあります。そんな時にどうしたらいいか。大切なのは、そう**感じてた時に『SOSが出せる子になる』**、ということ。

例えば、「今、自分は悲しいんだな」⇒「どうして悲しいんだろう」⇒「そうだ、こうしてほしかったんだ」⇒「困っている、と言ってみよう!」「じゃ、こうしてみよう!」と『**解決の一步に繋げる、行動を起こせる**』かどうかで、そのしんどい気持ちも、プラスに繋げることができるようにと思っています。

このような経験を繰り返し、市田小の子供達には、絶対にゆらがない頑丈な根を張る心の木を育てていきたいと考えています。



木は、根っこだけ、は育ちません。**枝葉を精一杯伸ばすことで、根っこが太く育つ**のだろうと考えています。1年間、市田小学校では学力・生活の基礎基本(**根っこ**)を大事に育てつつ、誰かと比べず持っている力一杯でやる事、自信がないけれど一歩踏み出す事、自分より小さなものを大切にする事等(**枝葉を広げる事**)を、担任の先生と一緒にやってきました。子供たちの心の根っこを育てるべく、授業に仕掛けと工夫をたくさん取り入れて、先生方は授業をしてきました。うまくいくことばかりではありませんでしたが、それもみんな大きな経験として、子供たちの心に残るといいな、と思っています。

1年経って子供たちの根っこは、そして枝や葉は大きくのびのび育ったのでしょうか。

保護者・地域の皆様、これからも子供たちの可能性を信じ、太く大きな根っこが育つよう、**広げた枝葉に豊かな言葉を、そして温かな光を**与えてください。私たち教職員も、保護者や地域の力に温かく見守られ、皆で力を合わせラストスパートといきたいと思っています。1年間支え、見守って下さり、大変ありがとうございました。

学校教育目標

いき生きと学び

ちからいっぱい活動し

だれとでも仲良く

ようこそ先輩課外授業 ～グアテマラってこんなところ～

2月4日（火）にJICA（国際協力機構）の海外協力隊（グアテマラの学校の先生）をしている飯田明彦氏（元石原小学校長）がゲストティーチャーとして講話に来てくださいました。テーマは「世界の笑顔のために」。グアテマラの位置や大きさ、気温や国旗などを知りました。食事の話や、お金の事。民族衣装も着させてもらい、異国の雰囲気を感じる事が出来ました。世界には195ヶ国中、150ヶ国以上の国が発展途上だとお聞きして、びっくりしていました。先生は最後に「世界も君も希望に満ちている」という言葉をお話してくださいました。貴重な経験ができました。



FM クマガヤ取材&収録 ～我が校の自慢～

2月4日（火）にFM クマガヤが本校に取材に来ました。テーマは「学校自慢」。本校の6年生が学校代表として取材に対応しました。本校の自慢は、「給食が美味しいところ」「みんな元気にあいさつしているところとケンカが少ないところ」「休み時間に先生と一緒に子供と遊んでくれるところ」「男女問わず仲が良いところ」「上下関係がなく、他学年が仲が良いところ」「地域との関わりがあるところ」「みんなが何事にも全力で取り組むところ」「先生がみんなイケメン」みんなの回答に笑いもあり、いい雰囲気で取材を終える事ができました。思い出の1つになりましたね。FM くまがやの皆様、お世話になりました。



避難訓練
自分の命は自分で守ります



ひ組アート展作品
ゴミ怪獣をやっつけろ！



4年生車いす体験
助けの必要性を感じました